

数学

立命館大学 全学統一方式 [文系] (2 / 2 実施)

<全体分析>

試験時間	80 分	解答問題数	3 題
------	------	-------	-----

解答形式

I・IIは空所補充形式、IIIは記述形式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

計算量が多い

入試改革を踏まえた出題

「数学の活用」を問う問題が、入試改革が提起される前から出題され続けており、本年も出題された。

その他トピックス

読解力が問われる長文問題が出題されている

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I				
[1]	平面ベクトル	数B	平面ベクトルの成分計算	標準
[2]	指数・対数	数II	指数・対数の連立方程式	標準
[3]	図形と方程式 式と証明	数II 数II	領域と最大最小 解と係数の関係	やや難
II	積分法	数II	面積と積分 数学の活用 (ジニ係数)	標準
III	数列 指数・対数	数B 数II	数列の一般項、和 桁数	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

Iの小問集合は難易度はさほど高くないが作業量が多いので典型問題を多く解き、素早く正確に計算できるようにしておこう。

IIのような日常のテーマに対して数学的モデルを設定して考えさせる問題は題意を把握する読解力が問われる。長文問題にも積極的に取り組み自分で問題を分析する力を養っておこう。